

栃木県農業総合研究 センターニュース

No. 3

2024.11



夢の新品種開発に向け 大麦の一斉播種を実施しました！



本県は生産量日本一のビール大麦（二条大麦）をはじめ麦作が盛んです。当センターではこれまで大麦 15 品種を開発してきましたが、最初の一步はこの一斉播種となります。

一斉播種は 10 月 31 日（木）、11 月 6 日（水）の 2 日間行われ、天候が心配されましたが無事終了しました。試験区を間違えないよう細心の注意を払い、2 列に並んだ穴に 1 粒ずつ種を置いていく地道な作業です。大麦は冬の間寒さに耐え根を張り、暖かくなるとともに急激に成長し 5 月下旬頃収穫となります。

Contents

- [研究成果] さつまいも安定生産技術の確立（P2）
- [成果速報] クビアカツヤカミキリの産卵阻止資材の検証（P3）
堆肥を活用した指定混合肥料で化学肥料使用量を低減（P4）
- [試験紹介] にら一年一作（定植した年の夏から収穫）栽培技術の確立（P5）
高温に強い水稻品種の開発（P5）
大豆の中耕・培土時追肥による増収効果の検討（P6）
生食用ぶどうの低コスト垣根仕立て栽培法の確立（P6）
- [トピックス] 古くて新しい水稻の害虫「イネカメムシ」（P7）
第64回全国なし研究大会栃木県大会が開催されました（P8）
第1回農業総合研究センター公開デーを開催しました（P8）
多くの方が農業の「今」を学んでいます（P9）
- [お知らせ] 病害虫発生予察情報を発表しました（P9）
病害虫発生予察特殊報第1号（トマトキバガ）を発表しました（P9）